



日本共産党 中野区議会議員
作業療法士

浦野さとみの区政報告

ほっこり通信

No. **93**

何でも無料生活相談実施中
e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ: <http://urano-satomi.jp>
浦野さとみ 検索
●Twitter: @urano_satomi
●Facebook: 浦野さとみ



聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



新型コロナワクチン接種について

(3月19日現在)

●接種場所 (予定)

- ①中野区医師会館 (週3日程度)
- ②区民活動センター (15センターを1日3センターずつ開設し、巡回)
- ③区内146の医療機関

●費用：無料

ワクチン接種相談窓口 (コールセンター)

中野区の接種スケジュール、接種場所などについて問い合わせが可能です

0570-03-5444 毎日：午前9時～午後7時

●接種券 (クーポン券) の発送と接種スケジュール

	75歳以上の方	65歳から74歳までの方	65歳未満の方
接種券 発送時期	4月15日から	5月中旬から	6月中旬から
接種時期	4月28日から	5月中旬から	6月下旬から
接種会場	・中野区医師会館 ・5月中旬から医療機関、6月上旬から区民活動センター (15か所のうち3か所ずつを接種会場として巡回) でも接種を受けられます。	・中野区医師会館 ・医療機関 ・6月上旬から区民活動センター (15か所のうち3か所ずつを接種会場として巡回) でも接種を受けられます。	・中野区医師会館 ・医療機関 ・区民活動センター (15か所のうち3か所ずつを接種会場として巡回)

※今後、ワクチンの供給状況に応じ、スケジュールなどは変更になる可能性があります。 ※詳しくは、左記記載のコールセンターで確認をお願い致します。
※ワクチン接種の予約は4月21日以降、接種券が届いた方から可能です。

新型コロナ相談窓口

症状があり、「かかりつけ医がいる」方

まずは「かかりつけ医」に
電話で相談を

発熱症状があり、「かかりつけ医がない」
もしくは休診などで連絡がとれない方

東京都発熱
相談センター ▶ **03-5320-4592**
(毎日：24時間)

感染の不安や予防など一般的な相談

東京都
コールセンター ▶ **0570-550-571**

(毎日：午前9時～午後10時)

中野区新型コロナ
受診相談 ▶ **03-3382-6532**

(毎日：午前9時～午後5時)

お困りごとは ありませんか？

- コロナの影響で仕事や住まいや失った
- 収入が減り、家賃が払えず生活もギリギリ
- お金がなく、病院にいけない
- コロナ関連の支援制度がよくわからない (申請をしたが、いまだに未給付で困っている)
- 税金や保険料などの減額や免除の相談をしたい
- 学校や保育園、教育や子育てに関すること
- 相続や法律に関する事で専門家に相談したい
- 介護保険や医療制度のことを詳しく知りたい
- マンション建築や道路の凸凹、近隣との境界のことで困っている
- ゴミの不法投棄や環境に関する事 など

まずは、お気軽に
ご相談・ご連絡下さい。

浦野さとみ
電話番号

090-8049-4784

相談フォームも活用下さい
TwitterやFBからの相談も可能です。



＝2021 (R3) 年度予算が可決成立＝

中野区議会第1回定例会で日本共産党は、区議団アンケートでお寄せいただいた声や日々の生活相談などでの実態をもとに論戦。本会議では羽鳥区議・小杉区議が、予算特別委員会では長沢区議・いさ区議・浦野がそれぞれ質問に立ちました。



〈主な質問項目〉

- PCR検査体制の拡充と保健所機能の充実
- 保育の質の確保や保育士の処遇改善を
- 新型コロナワクチン接種体制の強化、適切な情報提供と周知
- 文化・芸術施策の充実
- 生活・生業がきびしい区民・事業者への支援
- 旧中野刑務所正門(平和の門)の保存・活用計画の充実
- ジェンダー平等の視点で施策前進を
- 羽田空港新着陸ルート問題
- 生活保護ケースワーク業務外部委託問題

#生理の貧困

備蓄物資の有効活用を

中野区の防災備蓄物資に生理用品があり、これまでは3年の保存期限後は廃棄されていましたが(今年6月、その3年を迎えます)。総務委員会で豊島区のように無料配布活用を提案。区は、「社会福祉協議会や学校等と連携し、活用を検討したい」と答弁。他の備蓄物資についても有効活用を提案しました。

生活保護ケースワークの外部委託問題

違法の疑いが濃厚に

本来、生活保護のケースワーク業務は高い専門性が求められます。さらに、様々な決定が生じることから公務員にしかできないことも多く、生活保護法や社会福祉法で厳格に定められています。昨年秋に寄せられた相談から、委託職員による人権侵害や不当な返還要求が発覚。昨年の本会議質問で取り上げました。 ※前号のほっこり通信に概要を掲載→



その後も、多くの方と調査を重ねながら、3月の予算特別委員会の総括質疑であらためてこの問題を質しました。情報開示請求の資料やヒアリングなどから、現在の法律では認められていない「生活保護ケースワーク業務のほぼ丸ごと委託」の実態が明らかとなりました。

が低賃金で働いている可能性もあり、生活保護行政全体の構造的な問題もあります。

政府の狙いは業務委託化の推進

2019年末に政府は「生活保護におけるケースワーク業務の外部委託化」方針を閣議決定し、2021年度中に、結論を得るという積極的な方針を示しています。つまり、現在は違法であることを合法化しようとしています。「生活保護にかかわるコストは削減を歓迎する人々もいるだろう。しかし、住民の誰かの住み心地がジワジワと侵食されていく時、中長期的にはあらゆる住民に対して何らかのデメリットが発生するもの」と、ライターのみわよしこさんは指摘します。新しい区政のもと、この実態を正面から受けとめて、まずは検証し、改善に向け動くべきです。引き続き、様々な方面から質していきます。

※今回、「ダイヤモンドオンライン」「YAHOO! JAPANニュース」など、ネットメディアでも、この問題が報道されました。→



背景には前区政時代の職員2000人体制が

この背景には、新自由主義の中での公務員削減があり、前区政時代に「行革」の名で中野区職員を1000人以上削減し「2000人体制」にするという政策が根源にあります。その中で、本来は認められないケースワーク業務を外部委託することで財政効果を生み出した結果です。また、調査の中では、委託職員



浦野さとみ プロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ(40才)。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目(総務委員会、地域包括ケア推進調査特別委員会に所属)。趣味：竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

(弁護士による無料法律相談も実施中です)

